

会 告

第12回西山記念技術講座開催のお知らせ

—— 最近の製鋼技術の進歩 ——

下記より第12回西山記念技術講座を開催いたしますので、多数ご来聴下さるようご案内いたします。

1. 期 日 昭和46年5月25日(火), 26日(水)
2. 会 場 農協ホール(千代田区大手町1-8-3 農協ビル Tel. 03-279-0311)
3. 演題および講師

第1日 5月25日(火)

9:30~12:00	最近の製鋼技術の動向について	新日本製鉄	石原 重利君
13:00~15:00	電気炉技術の最近の進歩	大同製鋼	野田 浩君
15:00~17:00	製鋼炉用耐火物	川崎炉材	入江日出男君

第2日 5月26日(水)

9:30~12:00	連続鑄造—操業ならびに品質について—	日本鋼管	根本秀太郎君
13:00~15:30	減圧下における溶鋼処理	川崎製鉄	大井 浩君

4. 聴講無料
5. テキスト代 1500円
6. 連絡先 日本鉄鋼協会技術部編集課 Tel. 03-279-6021(代)
7. 講演概要

1. 最近の製鋼技術の動向について 新日本製鉄 石原重利君

製鋼技術の進歩については、特に近年、生産能率の増大、品質の向上、自動化、機械化等目覚ましいものがあり、現在の鉄鋼業の発展に大きく寄与している。

この製鋼技術の進歩の過程について、わが国を中心とし、諸外国の進歩にもふれて解析し、最近の動向を整理した。更に、今後発展を続けていく鉄鋼業からみた残された問題点を示すとともに、将来の動向についても述べてみたい。

2. 電気炉技術の最近の進歩 大同製鋼 野田 浩君

電気炉に関する最新の技術と今後の動向のうち、今回は(1)UHP 超大電力電炉、(2)還元鉄の利用、(3)原子力製鉄と電炉製鋼について述べ、電力が将来もつとも期待されるエネルギーであるだけに電炉製鋼の将来は高炉-LD法と併立する製鋼の2本の柱となることを示す。

UHP、還元鉄の連続装入そして連続鑄造といった技術革新の可能性、操業技術における自由度の豊かさは、電炉製鋼が今後とも経済的に発展する技術ポテンシャルを形成している。

3. 製鋼炉用耐火物 川崎炉材 入江日出男君

現在製鋼作業に使用されている耐火物を各使用炉別にのべる。転炉炉材として焼成合成マグドロレンガを主体とし、電気炉耐火物として直接結合のマグドロレンガおよびマグネシアレンガについて説明する。脱ガス設備D-H、R-H、ASEA-SKFの使用レンガと高純度アルミナレンガの概要についてのべている。造塊用耐火物としてスライディングノズル、連続鑄造用レンガ、取鍋のスリンガー施行についてのべ、最後に耐火物製造の問題点をのべる。

4. 連続鑄造—操業ならびに品質について— 日本鋼管 根本秀太郎君

連続鑄造の最近の傾向にふれ、連鑄の原理および操業上の問題点につき各要素ごとに説明する。

出鋼してから鑄片になるまで取鍋内不活性ガス吹込み、Al-wireによる添加方式、タンデッシュおよびノズル、鑄型パウダー、鑄型振動、2次冷却などの諸点について操業と品質の関連を述べる。

鑄片凝固組織の検討および連々鑄をはじめとする生産性向上のための手段、スラブ性状、製品鋼板の諸性質につき説明し、最後に今後の連鑄の展望につき述べる。

5. 減圧下における溶鋼処理 川崎製鉄 大井 浩君

溶鋼の減圧処理法の中の主要なものについて設備および操業に関する最近の進歩について述べる。なかでも取鍋脱ガス法に属する、誘導攪拌法、ASEA-SKF法およびFinklのアーキ加熱法の発展にみるべきものがあり、さらに最近開発されたステンレス鋼の真空脱炭法について解説する。脱ガス過程の化学工学的研究を流滴脱ガス法、真空吸上げ法、循環脱ガス法および取鍋脱ガス法についてその概要を紹介する。

第 82 回講演大会講演募集

— 申込(原稿同時提出)締切り 昭和46年 7月31日(土) —

本会は第 82 回講演大会を昭和 46 年 10 月 12 日(火), 13 日(水), 14 日(木)の 3 日間金沢大学(金沢市丸の内 1-1)において開催することになりました。下記要領により講演募集をいたしますので、奮つてご応募下さるようご案内いたします。

講演希望者は昭和 46 年 7 月 31 日(土)までに申込用紙と講演概要原稿を提出して下さい。

講 演 要 領

1. 講演内容 鉄鋼の学術、技術に直接関連あるオリジナルな発表
(設備技術、I E などに関する発表を歓迎いたします)
2. 講演時間 1 講演につき講演 15 分、討論 5 分の予定
3. 講演前刷原稿 講演前刷原稿はオフセット印刷いたしますので別添「講演概要原稿の書き方」をご覧のうえ申込時にご提出下さい。
 1) 原稿は読者に研究目的、方法、成果などが理解しやすいようにお書き下さい。謝辞は省略して下さい。
 2) 原稿は所定の「オフセット用原稿用紙」1 枚(表、図、写真を含め 1600 字)にタイプ印書あるいは黒インクまたは墨を用い手書きとして下さい。
 なお、オフセット用原稿用紙は別記(N65 ページ参照)のごとく有償頒布いたしますのでお申し込み下さい。
4. 講演概要集 「鉄と鋼」第 11 号(臨時増刊号)として発行いたします。

申 込 要 領

1. 講演申込資格 講演者は本会会員に限ります。非会員の方で講演を希望される方は、所定の入会手続きを済ませたうえ、講演申込みをして下さい。また共同研究者で非会員の方も入会手続きをされるよう希望いたします。
2. 講演申込制限 講演申込みは 1 人 3 件以内といたします。
3. 申込方法 本誌添付の講演申込用紙に必要事項を記入の上、講演前刷原稿とともにお申し込み下さい。
4. 申込用紙の記載について
 1) 申込用紙は(A)、(B)とも太字欄をのぞき楷書でご記入下さい。
 2) プログラム編成上の参考といたしますので、「講演分類欄」に講演内容が、前記のいずれに該当するか、番号でご記入下さい。
 3) スライドの要否は該当するものに○印をつけて下さい。

製 鉄						製 鋼				加 工		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
製鉄基礎	原料・燃料	高炉製鉄	特殊製鉄	フェロアロイ	製鉄耐火物	製鋼基礎	溶解・精錬	造塊	製鋼耐火物	塑性加工	熱処理	表面処理・防食
加 工			性 質									
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
鑄造	粉末冶金	溶接	金属物理解	金属組織	鋼の性質	鉄鋼材料	鑄鉄・鑄鋼	分析	試験・検査技術	計自動制御	I E 一般技術	その他

- 4) 講演者には氏名の前に○印を、また研究者氏名にはローマ字読みを付して下さい。
 5) 講演要旨は、情報管理のための文献検索カードに利用いたしますので講演内容が明確に把握できるようおまとめ下さい。

5. 申込みの受理

下記の申し込みは理由のいかんにかかわらず、受付はいたしませんので十分ご注意ください。

- 1) 所定の用紙以外の用紙を用いた申込
 - 2) 必要事項が記入されていない申込
 - 3) 講演内容が鉄鋼の学術、技術に直接関連がないと認められる場合
 - 4) 単なる書簡または葉書による申込ならびに電報、電話による申込
 - 5) 文字が読みづらいもの、印刷効果上不適当なものと認められるもの
6. 申込締切日 昭和46年7月31日(木)17時着信まで
 申込用紙、講演前刷原稿を同時提出のこと。
7. 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
 (社) 日本鉄鋼協会 編集課

第82回講演大会討論講演募集

—— 締切日(原稿ともに)昭和46年7月24日 ——

第82回講演大会の際に行なう討論会の討論講演を募集いたしますので、上記ご覧のうえ奮つてご応募下さい。

1. 討論会テーマ

1. 高炉内における還元過程 座長 館 充君
2. 連続铸造(铸造要因と材質の関係) 座長 太宰 三郎君
3. 鉄鋼の強化組織と靱性 座長 荒木 透君
 (本テーマは、金属学会「混合組織を有する合金の強度と靱性」と合同シンポジウムとして開催されます)。
4. オーステナイトステンレス鋼の高温強度と微細組織 座長 田中 良平君
5. 鉄鋼の格子欠陥 座長 橋口 隆吉君

2. 講演時間 1講演 20分とします。

3. 討論講演の採否 討論講演としての採否は討論会座長にご一任下さい。不採用となりました場合一般講演としてプログラムに編入いたしますので、あらかじめお含みおき下さい。

4. 講演前刷原稿 講演原稿はオフセット印刷いたしますので、別添「講演概要原稿の書き方」ご覧のうえ原稿用紙4枚以内(表、図、写真を含め6700字)に黒インクまたは墨で楷書で明りようにお書き下さい。

なお、オフセット原稿用紙は下記のごとく有償頒布いたしますのでお申込み下さい。

5. 申込方法 綴込講演申込書に必要事項ご記入のうえ申込書右肩に「討論会名」を朱書きし、原稿同封のうえ申込み下さい。

6. 申込締切日 昭和46年7月24日(土)

オフセット用原稿用紙有償頒布について

講演大会における講演前刷原稿は、所定のオフセット用原稿用紙を用いお書きいただいておりますが、下記により有償頒布いたしますのでお知らせいたします。

講演申し込みは別掲のごとく前刷原稿を同時に提出することになっておりますので、講演発表ご希望の方は締切日より20日以上余裕をもつて購入手続をとられるようお願いいたします。

記

1. 頒布料金 1枚5円

(頒布の枚数は下記のとおり限定いたします。なお料金は送料込)

5枚 60円,	20枚 165円,	40枚 400円
10枚 95円,	25枚 210円,	50枚 450円
15枚 130円,	30枚 245円	

100枚以上は小包となりますので係までお問い合わせ下さい。

2. 申込方法 ①オフセット用原稿用紙、②枚数、③送付先明記のうえ、④料金(切手でも可)を添えお申し込み下さい。

3. 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階 日本鉄鋼協会 編集課

昭和 47 年春季 (第 83 回) 講演大会討論会 討論講演募集のお知らせ

— 申込締切：昭和46年8月14日 —

本会では講演大会における討論会が活発で有意義なものとなるよう会員各位から伺ったご意見を参考に種々検討を重ねてまいりましたが、昭和47年春季(第83回)講演大会より、従来の方法を改正、討論テーマ発表を1年前に行ない、討論講演の会誌掲載を現在より2カ月早めて、講演に対する討論者を公募することにいたしました。

昭和47年春季(第83回)講演大会討論の討論講演を下記により募集いたしますので奮ってご応募下さるようご案内いたします。

記

1. 討論会テーマ

1. 高炉における SiO_2 の還元

座長 川 合 保 治 君

炉内採集試料よりみた高炉内におけるメタル中の Si 含有料の変動とそれに影響する SiO_2 ガス生成および吸収、メタル-スラグ間反応 (SiO 還元速度) などに関する諸問題を取りあげて討論いたしますので、奮ってお申し込み下さい。

2. ステンレス鋼の精錬

座長 不 破 祐 君

ステンレス鋼の溶製およびその真空精錬に関する今回の討論会は、その基礎となる諸反応の問題を主題とします。これらの溶製および精錬に関する基礎的研究の講演を公募いたします。

なお、この問題についての討論会は今後も続ける予定であります。

3. 強力鋼の微視組織と遅れ破壊

座長 荒 木 透 君

つぎの三つの観点からの講演および準備討論(実験データ発表)を公募いたします。

1. 高強度の鋼と環境破壊力学(亀裂伝ば特性を中心)
2. 鋼の遅れ破壊現象の基礎過程の機構に関する研究(格子欠陥, ミクロ亀裂と水素, 含水素化合物との相互作用)
3. 各種合金鋼の熱処理組織と遅れ破壊挙動の関連(マイクロフラクトグラフィ, 微視組織解析による実証)

4. 鉄鋼と非鉄 BCC 金属の異方塑性

座長 橋 口 隆 吉 君

BCC 金属が FCC 金属と著しく異なる塑性挙動を示すことが、もつとも顕著にあらわれる異方塑性の問題を主題とする講演を募集いたします。

— 以上のほか加工関係から1件討論テーマを検討中であります。

2. 申込締切日 昭和46年8月14日(土)

3. 申込方法 本誌綴込みの申込用紙(オレンジ色)に必要な事項ならびに申込書裏面に450字程度の講演の抽象トクトをお書きのうえお申し込み下さい。

4. 討論講演の採否 討論講演としての採否は、前記ご提出の抽象トクトにより検討のうえ決めさせていただきますので、あらかじめお含みおき下さい。

5. 講演前刷原稿締切日 昭和46年11月4日(木)

討論講演として採用された方は、本会所定のオフセット原稿用紙4枚以内(表, 図, 写真を含め6700字)に黒インクまたは墨で楷書で明りようにお書きのうえ、ご提出下さい。

6. 講演テーマ・講演者の発表 「鉄と鋼」第58年第1号(昭和48年1月号)にて発表いたします。

7. 講演内容の発表 「鉄と鋼」第58年第2号(2月号)に講演内容を掲載いたします。(従来より2カ月早くなっております)。

8. 討論質問の公募締切日 昭和47年3月上旬

前記第2号掲載の講演内容をご覧のうえ、質問対象講演を明記のうえ、本会編集課宛ご送付下さるようお願いいたします。

申込先：100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3階
日本鉄鋼協会編集課 Tel. 03-279-6021 (代)